

広報 つきがた

No. 158

昭和58年1月10日発行
発行 / 新潟県月潟村役場
毎月10日発行 1部10円

人口 動態	12月31日現在		12月中の移動	
	世帯数 817	人口総数 3,867	出生 4	転入 9
	(男 1,882 女 1,985)		死亡 3	転出 4



新年のごあいさつ

月潟村長

金子由征

あけましておめでとうございます。輝かしい昭和五十八年の新春を迎え、皆様には益々御健勝で御活躍のこととお慶び申し上げます。私も昨年三月に就任以来初めての新年を迎えた訳であります。

現在、地方自治体においても、同様非常に厳しい困難な問題を抱えております。その様な状況の中で、未熟な私であります。村民多数の方々の御協力、御支援を頂き、村政の執行をさせて頂きましたことを心から厚く御礼申し上げます。

さて、新しい年を迎えましたが、景気の停滞は殊のほか長期化する様相を示しており、わが国の経済を取りまく環境は、きわめて厳しいものがあります。昨年、年初来より始まった円相場の変動、諸外国よりの貿易の自由化要求、なかでも、農家にとっては死活問題である農畜産物輸入自由化、梓拡大という大問題を抱えております。

国内政治においても、緊急な国民的課題として行財政改革の推進の問題がおきております。多額な赤字国債発行による国家財政の危機により国家公務員給与引き上げの人事院勧告の凍結、又、今後予想される地方交付税の減額措置等、直接地方自治体に影響を及ぼす問題がある訳です。

月潟村におきましても、長期的展望にたつてそれらの問題に対処してまいる為に、役場内部の機構改革、又、健全財政確立に努力してまいる所存であります。

昭和五十八年は月潟村といいたしましては、五年目に入りました農村総合整備モデル事業を柱とし、国、県の御協力を頂き高率な補助事業としての新農業構造改善事業、都市ガス導入事業の実施、県営一般農道整備事業(木滑地区)の推進等で環境整備を行ってまいりたいと考えております。

又、消防ポンプ積載車も、本年度において最後の二台を月潟と釣寄に配備し、完了したいと考えております。

又、印鑑証明の間接証明への移行で事務事業の簡素化、老人保健法における健康管理の村事業の推進等、老人福祉対策の充実、社会教育の充実、又、地元商工業者発展の為に商工会と協力し、村全体の問題として取り組むこと、これらを本年度の重点施策として実現に努力してまいる所存であります。

どうか本年も、倍旧のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。皆様のご多幸とご健康をお祈りいたしまして新年のごあいさつといたします。